

小平市教育委員会議事録
——5月臨時会——

令和3年5月11日（火）

開 催 日 時 令和3年5月11日（火） 午後2時00分～午後2時14分
開 催 場 所 505会議室
出 席 委 員 古川正之 教育長
三町章 教育長職務代理者
山口有紀子 委員
丸山憲子 委員
青木雅代 委員
説明のための出席者 川上吉晴 教育部長
国富尊 教育指導担当部長兼指導課長
安部幸一郎 地域学習担当部長
市川裕之 教育総務課長
飯島健一 学務課長
細村英男 地域学習支援課長
季高一成 中央公民館長
利光良平 中央図書館長
書 記 山本真由美 教育総務課長補佐、長江陽一 教育総務課主任
傍 聴 者 なし

午後2時00分 開会

（開会宣言）

○古川教育長

ただいまから教育委員会5月臨時会を開会いたします。

（署名委員）

○古川教育長

はじめに、議事録署名委員の指名を行います。

本日の議事録署名委員は、山口委員及び私、古川でございます。

（議案）

○古川教育長

それでは、本日の議題に入ります。

議案の審議を行います。

議案第3号「令和3年度教育予算の補正の申出について」提案理由の説明をお願いいたします。

○川上教育部長

議案第3号「令和3年度教育予算の補正の申出について」を説明いたします。

本案は、市議会5月臨時会提出議案の原案として、教育委員会が所管する教育予算に係る補正を市長に申し出るものでございます。

今回の補正でございますが、骨格予算として編成しておりました令和3年度当初予算に対し、追加となる部分の予算を計上するものでございます。

補正の内容でございますが、歳入はございません。

歳出につきましては、小学校費625万円の増、中学校費375万円の増、社会教育費で173万8,000円の増、保健体育費で393万6,000円の増、合計して教育委員会が所管する教育費で、1,567万4,000円を増額いたします。

歳出について、説明いたします。

小学校費及び中学校費につきましては、トイレ洋式化改修に係る予算を計上いたします。

社会教育費につきましては、文化財調査の実施及び公民館のトイレ洋式化改修に係る予算を計上いたします。

保健体育費につきましては、小学校給食室の設備器具買い替えに係る予算を計上いたします。

○古川教育長

それでは、質疑に移ります。

○三町教育長職務代理者

今回の補正予算の位置づけですけれども、例えばトイレの洋式化改修というのがあります。補正予算でつけるということですから、つまり選挙がなければ、昨年度中にこれも含めて予算要望を出して判断されていたと思われるものを、今回、追加で出すという理解でよろしいですか。

○市川教育総務課長

今回の補正予算でございますけれども、まず、当初予算については、着手が遅れることで何らか財政的な損失やその事業の効果に損失があるものですか、あるいは着手済みの継続事業、さらに新型コロナウイルスの対策といった緊急性があるもの、こういったものは全て当初予算のほうに計上いたしました。逆に、今、申し上げたものでないものについては、今回の補正予算に計上して、区別させていただいております。

○三町教育長職務代理者

そうすると、市長が代わって、市長さんの思いの中で、新しい方針が出るのではないかという

期待があるのですが、今回はそういうことではなくて、ある程度進めたいけれども、選挙結果を見て、ここでスタートさせるということですね。ですから、市長さんの新しい施策に関わってのものというのは別に出るという理解でいいのでしょうか。

○川上教育部長

今回、市長が出馬するにあたりまして、ご自身の確認団体から87の政策というものを託されて、選挙に出て、当選されました。87の政策のうち、子どもに関わる予算もかなりあるわけですが、これから精査をしていった中で、どういう対応とするかということを検討して、準備ができ次第、順次予算化していくという流れになってまいります。全ての事項を全て予算化するというのではなく、一旦、行政のほうでしっかり課題を整理した上で改めて予算をご提案するというところでございます。中にはいろいろ期待されているものもあるかということは認識しておりますので、引き続き、課題整理に努めまして、できるだけ早く予算計上できるように、努力をしております。

○三町教育長職務代理者

今回の位置づけは理解しました。

○古川教育長

ほかの委員の方々。

○山口委員

補正予算ということで、この五つの項目が今回一番はじめに上がってきた理由が何かあったのか、教えてください。

○古川教育長

予算の立て方についてですね。それについてもう一回説明いただければ。

○市川教育総務課長

予算見積もりを立てる段階、つまり昨年の秋の段階で、必要なものをピックアップして、予算化をしていくわけでございます。まずは最低限の事業を当初予算に計上して、以降、それ以外の事業については、市長の意向なり様々な状況を加味しながら、必要に応じて随時、今回はこのタイミングとなりますけれども、補正予算を編成して、最終的にはそれぞれの課が事業を執行していくという流れとなっていると思います。

○川上教育部長

前の市長に関しては、マニフェストや政策インデックスというものを掲げて、その中ですぐやるものとか、実施時期を明記して、それをどういうふう to 実現していくかというような形で整理されていたということで、すぐやるものについては、補正予算の1歩目ということで、予算化してきた経過があるわけですが、今回の87の政策の中身を見ますと、整理しなければならないものがありまして、期限も明記されているものも少なかったというふうに捉えております。今ここですぐやるというよりも、市長の任期の中で進めていくということで整理しております。少し時間をいただきながら、課題整理に努めまして、順次出せるものから出していくということでございます。トイレの洋式化は87の政策の中にもあったわけですが、それ以外のところはそれほど大きく反映はされていない形での予算計上となっております。

○古川教育長

山口委員、立て方のやり方としてはよろしいですか。

○山口委員

ありがとうございます。立て方の、そのおおまかな流れについてはお話を聞いて理解できました。

新市長の87の政策に優先順位が明記されていない中で、今回のこの五つが最初に上がった理由は何かあったのか、改めて聞かせていただきたいと思います。

○川上教育部長

さきほど課長から説明申し上げましたとおり、昨年の秋に予算編成が始まりまして、時期の縛りがないものに関しては留保していたという経過がございます。それを後ろ倒しにしてしまいますと、劣化が進んでしまったり、洋式化の進捗が悪くなったりということもありますので、私もととしてもできるだけ早くやりたいと考えております。当初から予定をしていたものが今回、ここで予算化されたということでご理解賜ればと思います。

○山口委員

分かりました。ありがとうございます。

時期やタイミングを見計っていたものが、今回実現したということですね。

○古川教育長

予算自体はもっとたくさん要望はしていたけれども、その中で優先順位でこの五つが先にということなんです。

○山口委員

分かりました。ありがとうございました。

○古川教育長

これだけを希望したわけではないということです。

○山口委員

優先順位が高かったということで、理解しました。

○川上教育部長

特に、優先順位づけを明確にしているというわけではありませんけれども、予算要求したものが全部つくわけではありませんので、より劣化が進んでいるところとか、洋式化についてはいち早く変えたいという、私どもの思いと、査定する財政部門との折り合いがついた中で、今回の予算の位置づけにいたったというふうにご理解いただければと存じます。

○山口委員

分かりました。ありがとうございました。

○古川教育長

あと、よろしいですか。

ーなしの声ありー

○古川教育長

それでは、質疑を終結し、討論に入ります。

ー討論省略の声ありー

○古川教育長

では、討論を省略し、採決を行います。

議案第3号、令和3年度教育予算の補正の申出について、本案を原案のとおり決することにご異議ございませんか。

ー異議なしの声ありー

○古川教育長

ご異議なしと認め、本案は可決と決定いたしました。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして教育委員会5月臨時会を閉会いたします。

午後2時14分 閉会